

## 橋通3丁目バス停がリニューアルしました

9月20日のバスの日に合わせ、橋通3丁目バス停（北進：みやざきアートセンター前）がリニューアルされました。見やすく分かりやすい液晶モニターが設置されているほか、県産スギ材をふんだんに使い、花に囲まれた、景観にも配慮した宮崎らしいバス停です。リニューアルのコンセプトでもある「おもてなしの心あふれる」橋通3丁目バス停が、皆さんに愛されるバス停になり、公共交通の利用促進につながることを期待されます。



## 100歳長寿者をお祝いしました

9月21日の敬老の日に合わせ、市内にお住まいの100歳長寿者へ、お祝い状と宮崎の特産品などの祝品を贈り、長寿をお祝いしました。また、併せて、内閣総理大臣と県知事からのお祝い状や記念品をお届けしました。今年度、100歳を迎える人（大正4年4月1日から大正5年3月31日に出生）は市内に100人おられます。いつまでも元気にお過ごしください。

# Miyazaki Topics

宮崎市 旬の話題 “みやトピ”



## 宮崎市産の農産物がスイーツに変身!

9月26日、市内の高校生などの斬新なアイデアを基に、パティシエが完成させたスイーツの発表会が行われました。佐土原ナス、緑竹、かぼちゃやピーマンなど宮崎市産の農産物が、生産者もびっくりのスイーツに変身。最優秀賞作品など20種類のスイーツは、シェラトングランドオーシャンリゾートで10月末まで提供されました。

## 福岡ソフトバンクホークスがパ・リーグ連覇!

宮崎市でキャンプを行っている福岡ソフトバンクホークスが、9月17日に2年連続のパ・リーグ優勝を果たしました。宮崎駅前のKITENビルで行われたパブリックビューイングには、ユニフォームを着た多くのファンが集まり、試合の様子を見守りました。宮崎市出身の武田投手が先発の試合ということもあり、序盤から大きな声援が飛び交いました。優勝が決まった瞬間、会場のファンは総立ちになって喜びを分かち合いました。



↓ 昭和42年11月号が電子書籍で読める!

今回の旅行先 昭和42年

すごい電話の数!



今月発掘するのは、昭和42年11月号の「あなたのS・O・Sを待つ ずらり並んだ電話ですが…」です。写真に写っているのは、消防署の指令室に並んだ14個もの電話。当時はここにかかってくる緊急通報に対応するだけでなく、電話の録音や署員への指令などもたった1人で行っていたそうです。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りバーコードリーダー」を推奨しています。



現在



昭和42年



現在は指令台5台を駆使。迅速かつ的確に対応しています。

消防局指令課 係員(再任用) 山元 政晴

私が入庁した昭和50年の数年間まで、望楼（市役所本庁舎屋上に設置されていた遠くを見るための高い塔）に登って警戒にあたる勤務があり、火災通報より先に、望楼から火災を発見することもあったようです。

昭和63年ごろまでは高度な機器類はなく、119番通報を受信すると、災害現場を特定するためにまず地図を開き、状況を聞きながら速やかに位置を特定することに集中していました。現在は、発信者の位置が自動でパソコン画面に表示されるシステムのおかげで、迅速に位置が特定できます。また、救急車などへの出動命令や関係機関への連絡も瞬時に行えます。

## 地名むかしむかし 2015 ⑥ 「おおよど」

昭和35年4月号から1年間連載されていた「地名むかしむかし」。市内のいろいろな地名の由来を当時の文章のままお届けします。

昭和35年10月号より



写真は当時の中村1丁目

おおよど(大淀)というのは、いうまでもなく宮崎市のうち大淀川の南岸の地域を指すことばである。けれども古い文書にはあまり見えない。大淀の地名がおこったのは明治になつてからのようである。(中略)明治二十二年の町村制の実施にあつてこの六町村中村町・太田村・福島町・大塚村・古城村・源藤村を合併して一つの村にした。それは大淀川をはさんで宮崎町と対する一大自治区をつくるという理想によるものであつた。そしてこのときはじめてこれを大淀村と呼んだのである。ところが大淀川は(中略)古い時代には小戸の渡といつた。(中略)この古い世の橋の小戸の渡といつた「小戸の渡から小戸の川」になり、さらに大淀川になつたものと思われる。